

第45回長崎県小学生バレーボール大会 新型コロナウイルス感染症及び熱中症 対応マニュアル

長崎県小学生バレーボール連盟
会長 中村 昭夫

長崎県小学生バレーボール連盟は、新型コロナウイルス感染症及び熱中症対策として下記の通りの措置を講じ、本大会を運営致します。各チーム及び大会関係者の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 1 開・閉会式は実施しない。（表彰は、コート表彰）
- 2 チーム関係者（選手・保護者・ベンチスタッフ）が会場に入場できない場合は次の通りとする。
 - (1) 本人が感染している場合
 - (2) 本人が保健所や医師の勧めでPCR検査等を受け、判定待ちの場合
 - (3) 本人が「濃厚接触者」の場合
 - (4) 本人の同居家族がコロナ関連の検査で陽性判定が出た場合又は、病名が特定できない発熱が出た場合（医師の診断を受けていない場合）
 - (5) 本人が所属する学級が学級閉鎖や学校が臨時休業になった場合
 - (6) 学校長から大会出場自粛の要請があった場合
- 3 **大会1週間前から大会当日朝**
チーム関係者（選手・保護者・ベンチスタッフ・同居家族）に新型コロナウイルス感染者が出た場合は、次のような対応をとり、必ず県小連に報告すること。
(理事長早川 090-9077-3881)
 - ① 感染拡大の可能性がある場合
・チーム内で検討し、参加の可否を決定すること。
 - ② ①を受け、大会に出場する場合
・事前に会場に入場する全てのチーム関係者は、抗原検査又はPCR検査を受け、陰性であることを確認してから出場すること。
- 4 大会関係者（選手、保護者、すべての大会役員）は、チェックシートを必ず提出する。また、体育館内では原則としてマスク着用を義務付ける。選手もフロアに降りて練習・試合をする場合以外は、マスクの着用を義務付ける。応援する保護者・ベンチ外選手のマスク着用も義務付ける。保護者の体育館入場可能人数は**14名とする。（試合ごとの入れ替わりは可）**但し、MRS登録されている14名以外の部員、及び応援する保護者に同伴する乳幼児は、入場可とする。（体育館に入場する全ての人は1週間のチェックシートの提出を求める）
※**試合がないときは、スタッフ・選手以外は、会場の外に出ることとする。**
但し、選手の昼食時に限っては、保護者が昼食のお世話で会場に入ってもよい。
- 5 選手は、試合前練習・公式練習・試合中マスクを外してもよい。但し、試合中ベンチ又はウォームアップゾーンにいる選手は、マスクを着用すること。その際、息苦しさを感じた場合は、外してもよい。
- 6 応援は、声を出さずに拍手のみとする。
- 7 消毒用のアルコール、ウェットティッシュなどを各チームで準備し、活用する。
- 8 試合に関して
 - プロトコルで、選手はコートのエンドラインに並んだら、その場で挨拶し、その後ベンチに戻る。選手同士及び審判員とチームキャプテンの握手は行わない。
 - 相手チームへの挨拶も行わない。

- チェンジコートはしない。（応援も試合終了まで同じ場所で行う。）
- 公式練習は、必ず3分別々で実施する。
- テクニカルタイムアウト2回実施。
その際、ベンチスタッフは子どもの様子を見て、体調確認をすること。
- 公式記録用紙を使用する。

- 9 次の試合の選手は、前の試合の選手・ベンチスタッフがコートを開けてからコートに入る。
- 10 試合後、選手は必ず手洗い・うがいをする。
- 11 体育館の窓を開け、換気を十分に行う。
- 12 ベンチスタッフ及び控えの選手、試合の補助員は、マスクを着用する。
- 13 記録席は、記録を担当をした選手が消毒する。ベンチの椅子は、試合終了時に自チームで消毒する。
- 14 ボールの消毒は、副審がテクニカルタイムアウト（1,2セット：7,14点の時／3セット：8点の時）及びセット間時に必ず行う。
- 15 選手の持ち物については、各自で持って移動し共用しない。
- 16 記録用の筆記用具は各自で準備し、ラインズマンフラッグは副審が試合後に消毒する。
- 17 昼食時は、同じ方向を向いて黙食を行う。（軽食に関しても同様。）
- 18 選手の控室での着替えについては、マスク着用で行うこと。
- 19 公共交通機関及び自家用車での移動の際も、必ずマスクを着用すること。

※ 感染状況を考慮し、内容を変更する場合があります。
あることを申し添えます。